

請願番号	請願第25号	受理年月日	平成24年11月28日
請願の件名	<p>医療費の窓口負担の軽減に関する意見書提出を求める請願</p> <p>医療機関窓口払いの負担の重さが、治療に必要な人たちを医療から遠ざける事態を深刻化させています。医療を無理に切り詰めることは健康を破壊し、命にかかわる重大問題です。誰もが経済的な負担を気にせず受診できるように、窓口負担の引き下げが急がれます。</p> <p>日本医師会が9月に発表したアンケート結果は、高すぎる窓口負担が、患者が医療を受ける機会を妨げている実態を明らかにしました。3割負担を「とても負担だ」「やや負担だ」と回答した人は66.5%に達しました。深刻なのは「過去1年間に経済的理由で受診を控えたことがある」人が10%を超えたことです。「症状が悪化したことがある」人は受診を我慢した人の半数以上になりました。窓口負担が障害になって比較的身近な医療機関でさえ足を運びにくくなっていることを示しています。</p> <p>厚労省の調査でも1,000～3,000円の窓口負担を重く感じる人が年収200万円未満の層で多く、年収400万～600万円未満の層の2.5倍でした。収入が少ないほど窓口負担に苦しんでいることを浮き彫りにしています。</p> <p>受診が遅れ、重症化するほど医療費はかさみます。早期受診・治療が医療費を抑え、医療保険財政の改善にもつながります。</p> <p>以上のようなことから、下記の事項について国に対して意見書を提出下さいますよう請願致します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 誰もが経済的な負担を気にせず受診できるように、医療費の窓口負担を軽減すること。</p>		
紹介議員	前屋敷恵美		
摘要			